

## ◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

### ●情報の認知と行動研究会ワークショップ 2014

委員長 柏岡秀紀 (NICT) 副委員長 川原靖弘 (放送大)

今年度より発足しました情報の認知と行動研究会において、「情報の認知と行動研究会ワークショップ」を岡山のサントピア岡山総社にて開催致します。本ワークショップは、近年目覚ましく進歩している脳機能及び生体情報計測技術を利用し、情報の認知から行動に至る機構を脳科学に基づき科学的に解明することを目指している研究者・技術者が集い、主にポスター発表を通じて、本研究分野の研究課題について議論し、関係領域の研究者間の交流を深めることを目的に企画しました。招待講演も計画しております。

なお、会場の都合上、参加定員を設けさせていただきます。詳細については、決まり次第、下記ホームページにて案内させていただきます。

ホームページ：<https://sites.google.com/site/icb2014a/activity>

期日 平成 26 年 10 月 2 日 (木), 3 日 (金)

会場 サントピア岡山総社

#### 【問合先】

柏岡秀紀

E-mail : [hideki.kashioka@nict.go.jp](mailto:hideki.kashioka@nict.go.jp)

主催 情報の認知と行動時限研究専門委員会

### ●第 5 回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 新津善弘 (芝浦工大)

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成 26 年 10 月 31 日 (金)

会場 東京大学情報基盤センタ (文京区)

テーマ：OSS を活用するネットワークソフトウェア開発+一般

#### 概要

インターネットを通じ、多数の開発者が参加・協力してソフトウェアを改善、発展させていくオープンソースという概念が登場して久しい。開発サイクルの短期化、コストの削減が要求されるネットワークソフトウェア分野でも、SDN (Software Defined Network) プラットフォームを開発する OpenDaylight Project, クラウドコンピューティングのインフラ基盤やネットワークを稼働させるデータセンタをオープンソース化する Open Compute Project をはじめとして様々な OSS プロジェクトが活動しており、オープンソースソフトウェアを利用してシステムを構築することは、半ば不可欠ともいえる状況になっています。

その一方で、OSS の活用には、品質の見極め、サポート不足、対応できる技術者不足等、従来の開発には見られなかった課題も指摘されています。最近では、オープン概念はソースコードに留まらず、オープンデータ、オープンコンテンツのようにオープン化する対象をより広範囲にする傾向が強まっています。

本研究会では、このような状況の中、ネットワークソフトウェアに関し、OSS を活用する新たなソフトウェア開発手法及び開発管理技術について議論致します。

例えば、

- ・OSS を活用したネットワークソフトウェア開発の現状分析、リスクや解決方法の提案
- ・ネットワークソフトウェア開発における OSS 活用方法や開発管理技術に関する提案
- ・その他一般

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッ

ションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

**【発表形式】** 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件当たり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件当たり約5～15分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

**【各種締切】**

一般講演申込み 10月1日（水）

一般講演原稿提出 10月8日（水）

ポジションペーパー申込み 10月8日（水）

研究会参加申込み 10月8日（水）

参加費振り込み 10月22日（水）

**【一般講演の申込と原稿提出】**

・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、講演者の方の参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込みもされたものとみなしますので、下記参加申込みに関する注意事項も合わせて御確認下さい。

・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。PDFファイルは全てのフォントを埋め込んで作成して下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当たり1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当たり2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。

**【ポジションペーパーの申込と原稿提出】**

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。

※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問合せ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

**【参加申込】**

氏名、所属、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mailアドレスを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

**【参加費（予定）と参加費支払方法】**

一般 7,000円 学生 3,000円

参加費を期日までに下記口座へお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

〈振込先口座〉

銀行名：みずほ銀行 支店名：三鷹支店

口座名：ネットワークソフトウェア研究会

口座番号：普通 4298770

**【予稿集の事前配布】**

講演内容の理解促進及び質疑応答の更なる充実を目的に、希望する参加者の方へ予稿集を事前配布（郵送）します。事前配布を希望される方は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。なお、期日までに参加費を振り込むことが事前配布の条件となりますので、御了承下さい。

**【講演・参加申込先・原稿提出先】**

北野雄大（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL〔0422〕59-3890

E-mail：ns-nws-kanji@mail.ieice.org

**【研究会全般に関する問合せ先】**

奥谷武則（NTT）

TEL〔0422〕59-3805

●第27回情報伝送と信号処理ワークショップ

実行委員長 中里秀則（早大）

テーマ：2020年のICTを考える

北海道開催11回目を迎える本年は、再びの寒い知床で、未来についての熱い議論を企画しました。2020年は東京オリンピックが開催され、日本としては一つのエポックメイキングな年になることが期待されていますが、情報通信技術やその応用も大きな発展を遂げていると考えられます。技術としてはSoftware-Defined Networkingや第5世代移動体通信が重要なトピックになっており、また応用としてはIoT、自動車、無人航空機、ヒューマンサポート、新たな映像音響環境等様々な広がりを見せることが期待されます。これらの分野から専門家の方々をお招きし、併催の通信方式研究会とともに、未来についての熱い議論を通して様々な分野の方々と交流を深めて頂ければ幸いです。

多数の皆様の御参加をお待ちしております。

期日 平成26年11月5日（水）～7日（金）

会場 知床ウトロ温泉知床グランドホテル北こぶし (<http://www.shiretoko.co.jp/> TEL [0152] 24-3222)

講演 テーマ：2020年のICTを考える

以下のセッションを計画しています。なお、スケジュール等は変更になる場合があります。最新情報は学会ホームページ (<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>) にて御確認下さい。

5日（15：30～18：00）

オープニング 中里秀則（早大）

第1セッション

1. [基調講演] ネットワークの温故知新と2020年への展望 青山友紀（慶大）
2. [特別招待講演] 2020年に向けた映像通信のための低消費電力型超高速無線システム 宮永喜一（北大）
3. [特別招待講演] 共創としてのコミュニケーション—人間を内側から支援する技術をめざして— 三宅美博（東工大）

夕食・懇親会（19：00～21：00）

6日（8：30～10：00）CS研究会第一部

6日（10：10～18：10）

第2セッション

1. [基調講演] 車からクルマへ：社会インフラの一員に 井上友二（トヨタIT開発センター）
2. [基調講演] 無人航空機の現状と将来への展望 河村暁子（電子航法研）
3. [基調講演] 5G移動通信システムに向けた取り組み 奥村幸彦（NTTドコモ）
4. [基調講演] SDN・NFVの標準化動向 島野勝弘（NTT）
5. [基調講演] SDN/OpenFlowの最新動向とキャリアの取り組み 佐藤陽一（NTTコム）
6. [基調講演] ネットワークと空間特性・空間情報 斎藤洋（NTT）
7. [基調講演] 機能素材“hitoe”を用いた生体情報計測ウェアとウェアラブルデバイス 小泉弘（NTT）
8. [基調講演] 超多視点とフリーナビゲーションを実現する自由視点テレビ 谷本正幸（名古屋産業科学研）
9. [特別招待講演] プラットフォーム時代の日本半導体の復権を目指して 渡辺誠一（テックゲートインベストメント）

講師を囲んで（交流会）（20：30～）

7日（8：30～11：30）CS研究会第二部

【参加申込】

参加申込締切 10月10日（金）

参加費（予稿集込）

学会員 25,000円、非会員 30,000円、学生 10,000円

宿泊費：16,000円（2泊／全参加者共通）、予稿集：4,000円

◎参加費、宿泊費につきましては、今回から当日支払はなくなり、振込のみのお支払いとなります。

参加申込手続き

学会ホームページ (<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>) のCSワークショップ参加申し込みフォームにてお申し込み下さい。宿泊、及び航空券手配につきましてもCSWSパックを御用意しておりますので、同フォームよりお申し込み下さい。会場案内等の詳細は上記学会ホームページを御覧下さい。

・参加費の銀行振込先は下記のとおりです。

振込先：みずほ銀行（銀行コード：0001）

金沢文庫支店（店番号：899） 口座番号：1146610

CSWS 実行委員会（シーエスダブルエスジツコウイインカイ）

なお、振込通知（金額内訳を明記）を下記まで E-mail, FAX 等で行って下さい。

会計幹事 外村喜秀

E-mail : [tonomura.yoshihide@lab.ntt.co.jp](mailto:tonomura.yoshihide@lab.ntt.co.jp)

FAX〔046〕855-1284

**【問合先】**

松永統行

E-mail : [m-matsunaga@bx.jp.nec.com](mailto:m-matsunaga@bx.jp.nec.com)

主催 情報伝送と信号処理ワークショップ実行委員会

通信方式研究専門委員会